

**D-ILA フロントプロジェクター
ガンマ調整ソフトウェア取扱説明書**

Ver. 1.00

1. 概要
2. システム推奨環境
3. 準備
4. プロジェクターとの接続
5. スタートアップ画面
6. 受信完了画面
7. ガンマデータ保存画面
8. ガンマ調整画面
9. エラーメッセージ

1.概要

本ソフトウェアは D-ILA プロジェクター DLA-HD100 のメニューから〔カスタム〕のガンマを調整します。

〔ノーマル〕〔シアター1〕〔シアター2〕〔ダイナミック〕のガンマは変更できません。

2.システム推奨環境

オペレーションシステム：Windows XP SP2

シリアルポート：RS232C ポートを搭載している PC が必要です。USB シリアル変換コネクタを使用した場合は動作保証対象外とさせていただきます。

ハードディスク：空き容量 100MB 以上

メモリ：64MB 以上

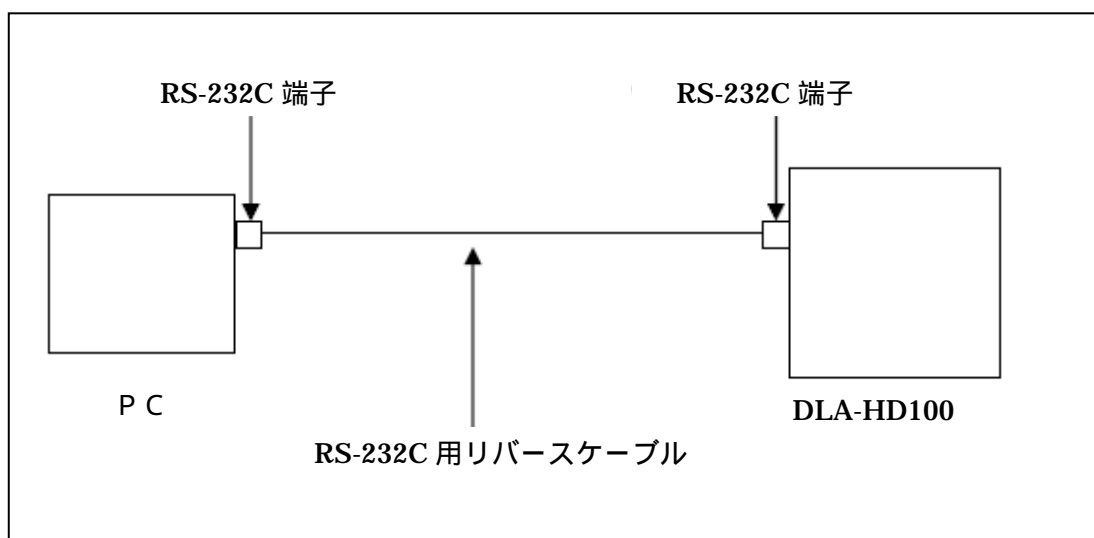
3.準備

インストールの前に、以下のものをご用意ください。

- 1) 対象プロジェクター (DLA-HD100)
- 2) RS-232C 用リバースケーブル
- 3) PC
- 4) ガンマ調整ソフト (ILAFPJ_Gamma.exe)

4.接続

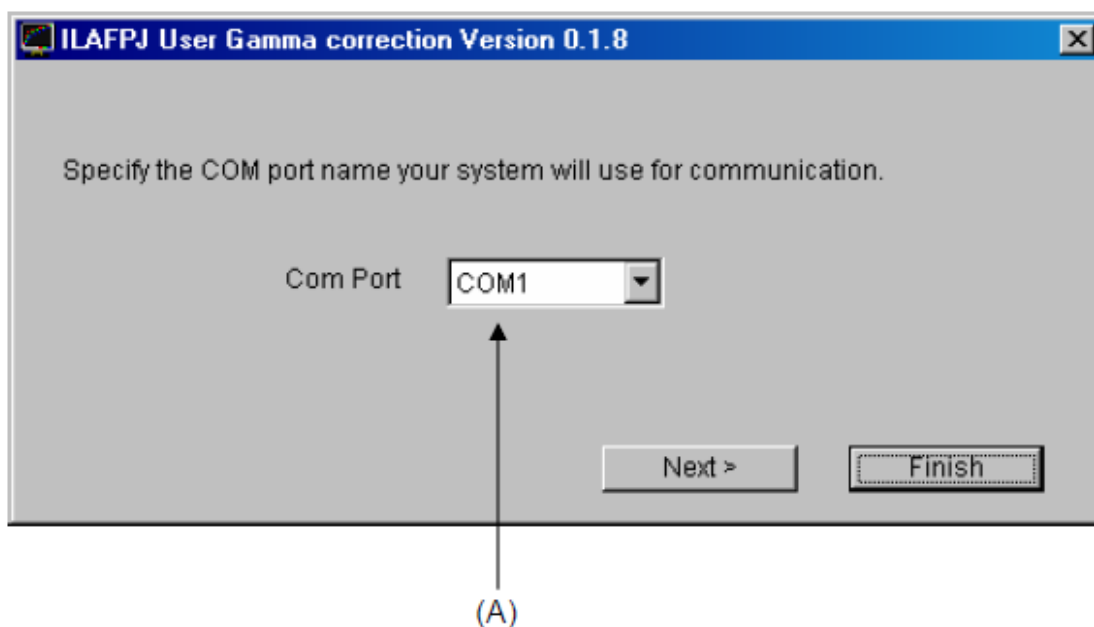
PC とプロジェクターを下図のように接続してください。



5. スタートアップ画面

プロジェクターの電源をオンにします。

PC を立ち上げ、ガンマ調整ソフトウェアを起動すると、以下の画面が表示されます。

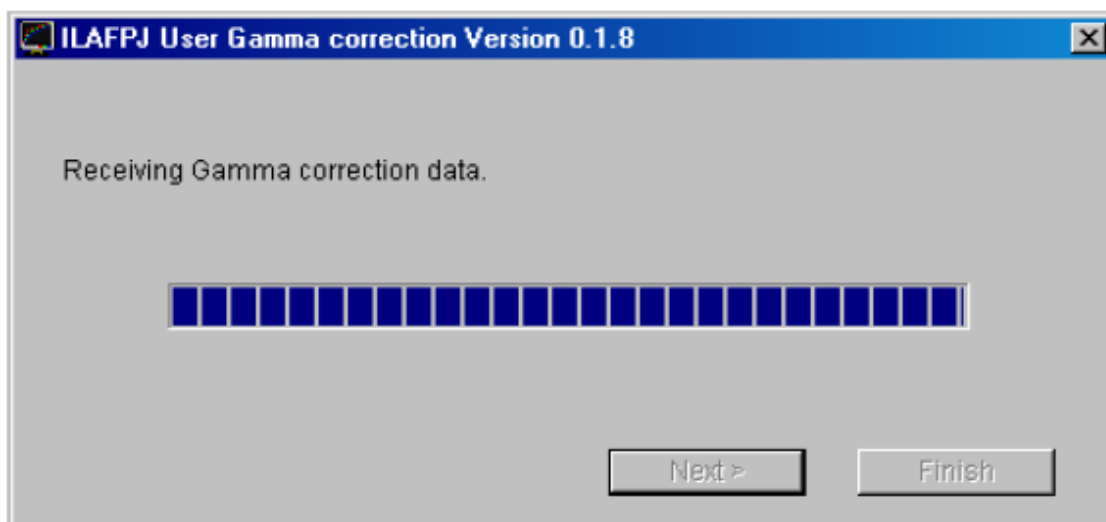


(A) RS-232C 接続ポートを選択。COM1-COM20 が選択可能です。

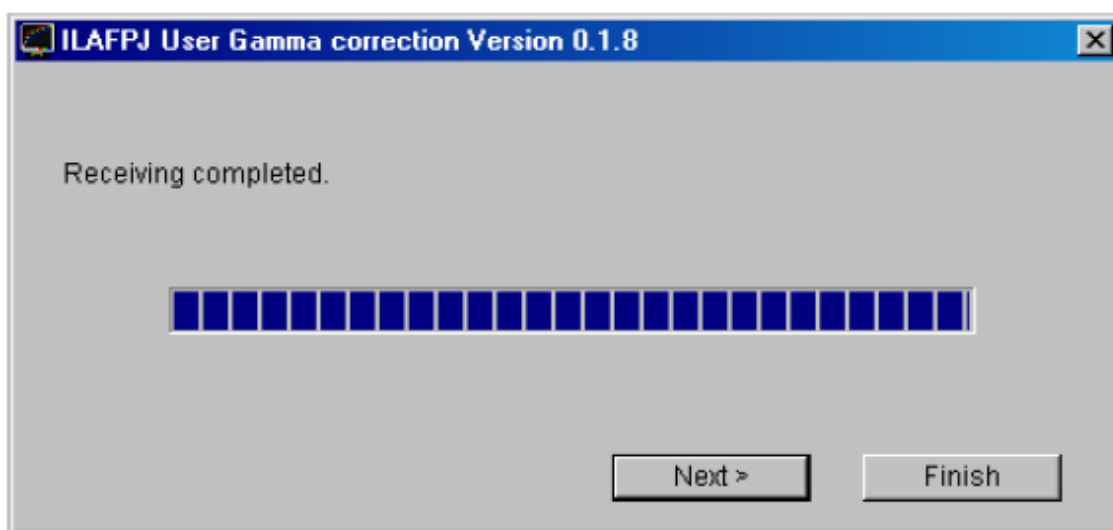
を押すと、プログラムはプロジェクターと接続され、ガンマデータがプロジェクターから受信されます。ガンマデータの受信状況が次の画面に表示されます。接続に失敗、もしくは受信に失敗した場合はエラーメッセージが表示されます。

エラーメッセージに関しては、“9.エラーメッセージ”を参照下さい。

を押すとプログラムを終了します。



6. 受信完了画面

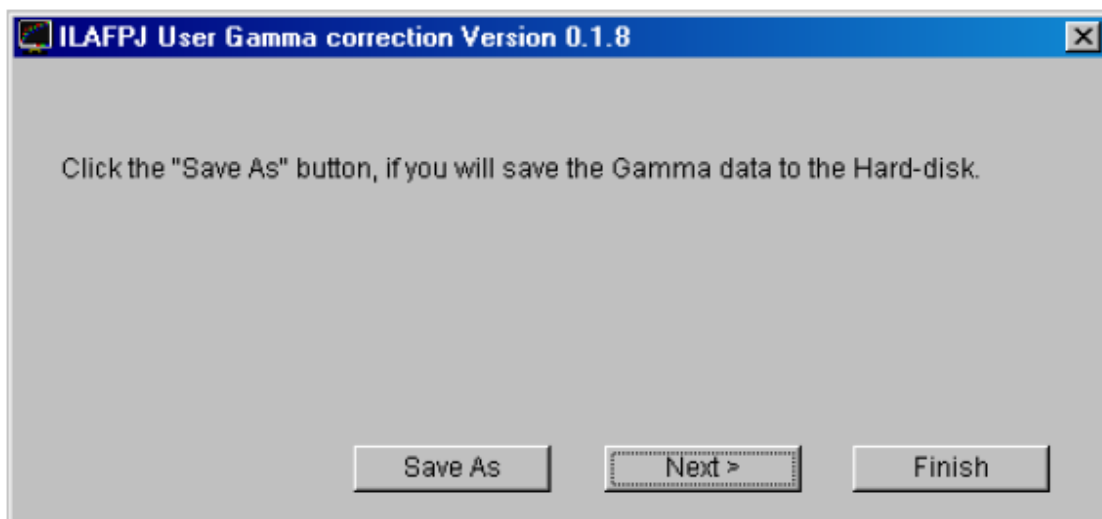


ガンマデータの受信が完了すると、“Receiving completed.”が表示されます。

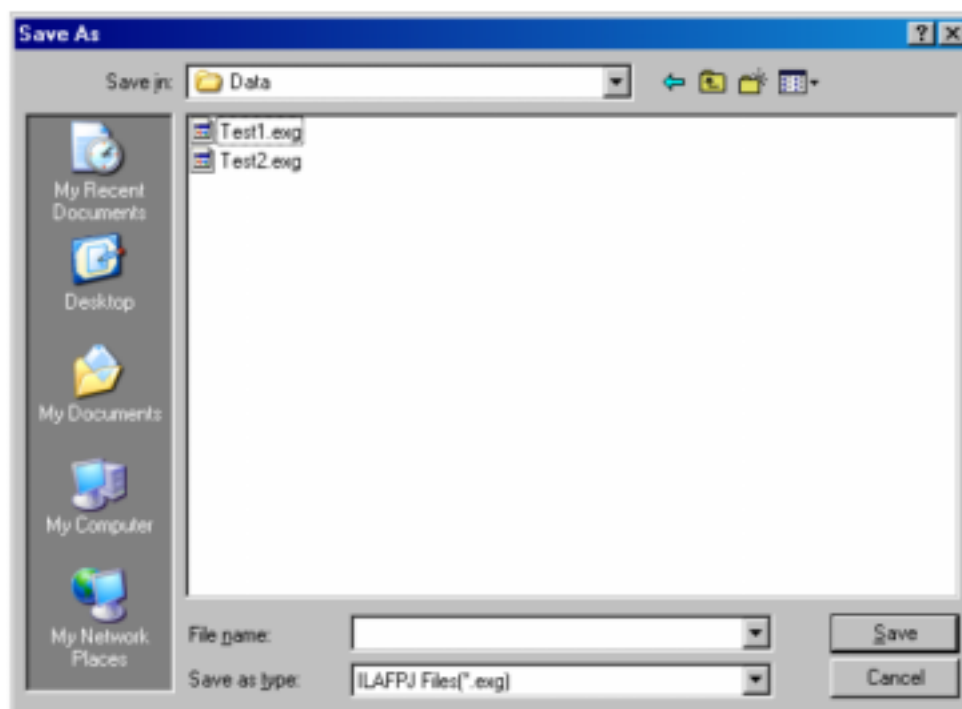
を押すと、“7. ガンマデータ保存画面”を表示します。

を押すとプログラムを終了します。

7. ガンマデータ保存画面



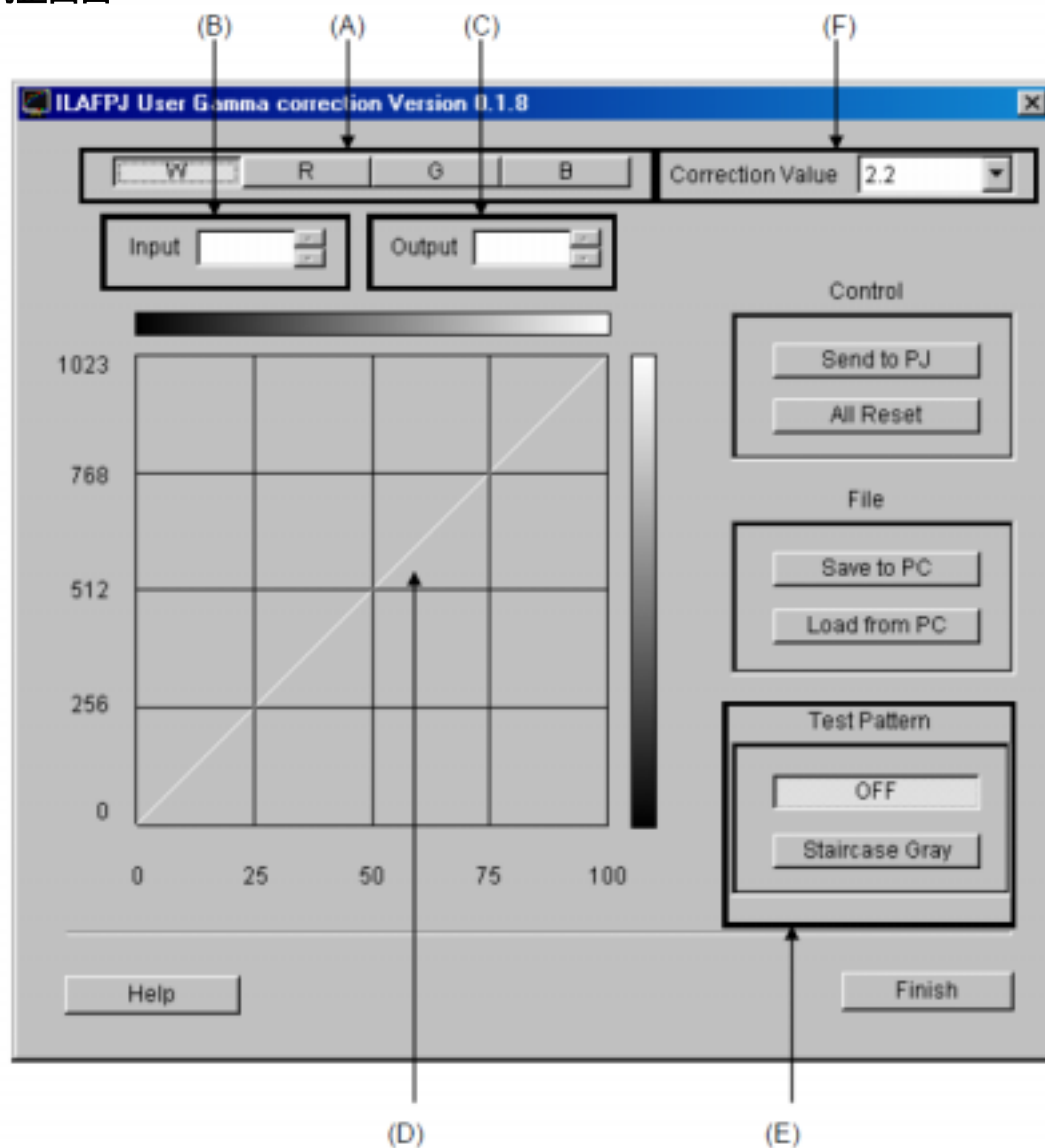
Save as を押すと、PCの保存先のダイアログが表示され、プロジェクターが受信したガンマデータを保存できます。



Next > を押すと、“8. ガンマ調整画面” を表示します。

Finish を押すとプログラムを終了します。

8. ガンマ調整画面



(A) 調整する色を選択

W:全色(赤・緑・青)を同時に調整

R:赤を調整

G:緑を調整

B:青を調整

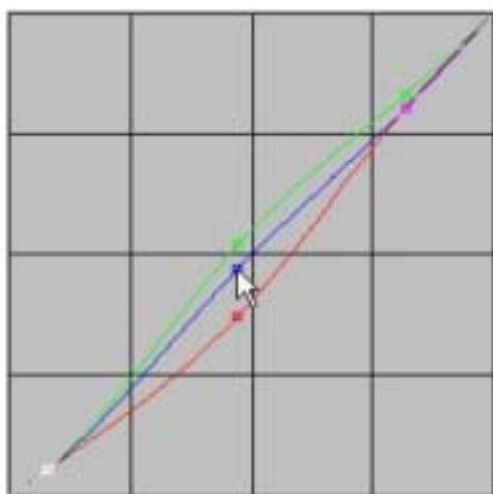
(B) コントロールポイントのインプット値を直接設定(1~99まで任意の数字を入力します。)

インプット値は水平軸に対応しています。

(C) コントロールポイントのアウトプット値を直接設定(0~1023まで任意の数字を入力します。)

アウトプット値は垂直軸に対応しています。

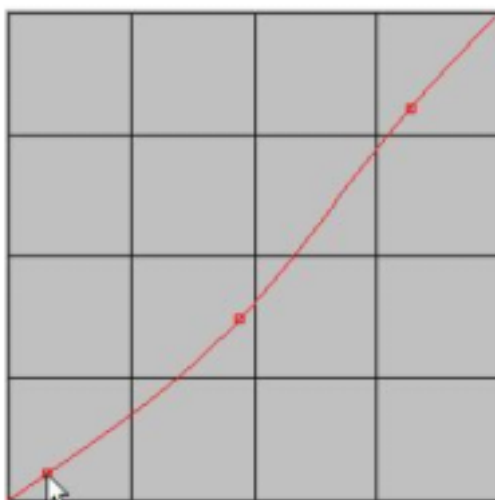
(D) ガンマグラフの調整



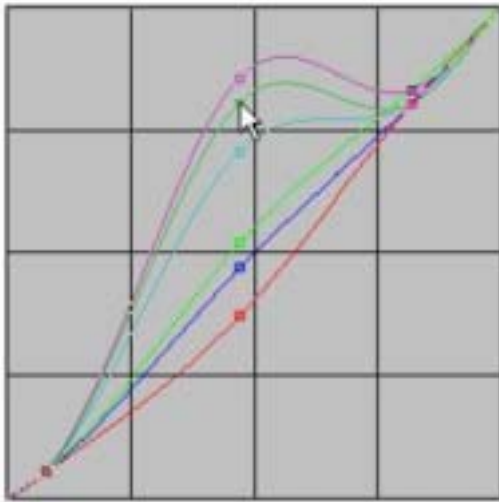
“ W ” ボタンを選択すると、すべてのガンマカーブが表示されます。3色重なっている場所は白で表示されます。同様に、赤と緑が重なった場所は黄色、赤と青はマゼンタ、緑と青はシアンで表示されます。

ガンマカーブをマウスでクリックすると、コントロールポイントを設定できます。“ W ” ボタンを選択すると、ガンマカーブの RGB 全てにコントロールポイントが設置されます。

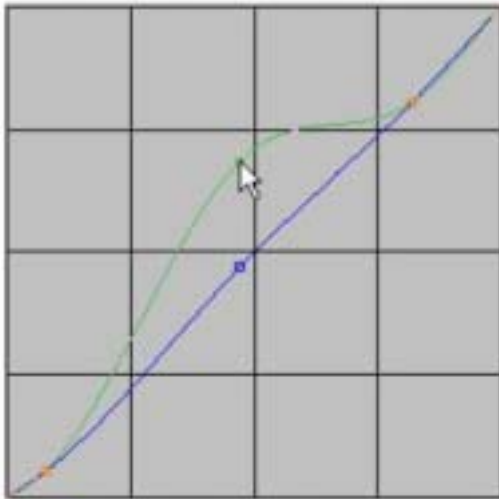
コントロールポイントは、RGB それぞれ最大 10 ポイントまで設置できます。



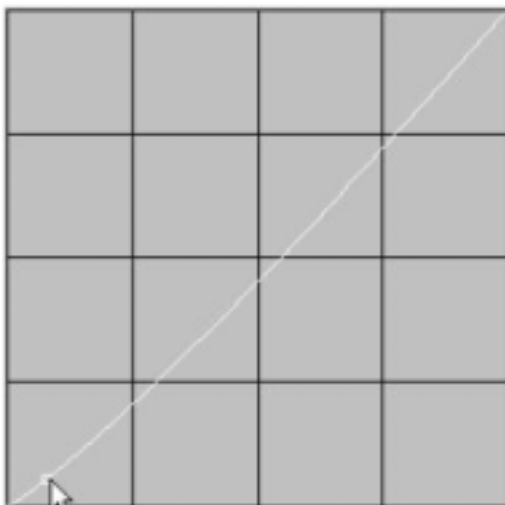
“ R ” か “ G ” もしくは “ B ” ボタンを選択すると、選択されたカーブのみが表示されます。また、それぞれのガンマカーブをマウスでクリックして、コントロールポイントを設定できます。コントロールポイントはすべてのガンマカーブの RGB に設置されます。



コントロールポイントをクリックし、上下にドラッグすることで、アウトプット値を調整できます。“R”か“G”もしくは“B”ボタンを選択すると、選択されたカーブのみが調整されます。“W”ボタンを選択すると、それぞれのカーブのすべてのポイントが一度で同比率分、変更できます。



マウスではコントロールポイントを左右に移動できません。
 (B) コントロールボックス “Input” でインプット値を設定してください。



コントロールポイントを消去するには、Ctrl キーを押したままクリックしてください。すべてのガンマカーブの同じインプット値を持つコントロールポイントは消去されます。ガンマカーブにひとつしかポイントが残っていない場合は、消去できません。

(E): **OFF** **Staircase Gray**

調整用のテストパターンを設定します。テストパターンの変更失敗するとエラーメッセージが表示されます。

エラーメッセージに関しては、“9.エラーメッセージ”を参照下さい。

(F): **Correction Value**

ガンマ補正係数の設定ができます。デフォルトは2.2で、1.8から2.6の値の間で、0.1刻みで設定できます。

Send to PJ

すべてのRBGのガンマデータをプロジェクターに送信します。

Reset All

ガンマデータを選択された補正值のデフォルトに戻し、すべてのコントロールポイントを削除します。

SAVE TO PC

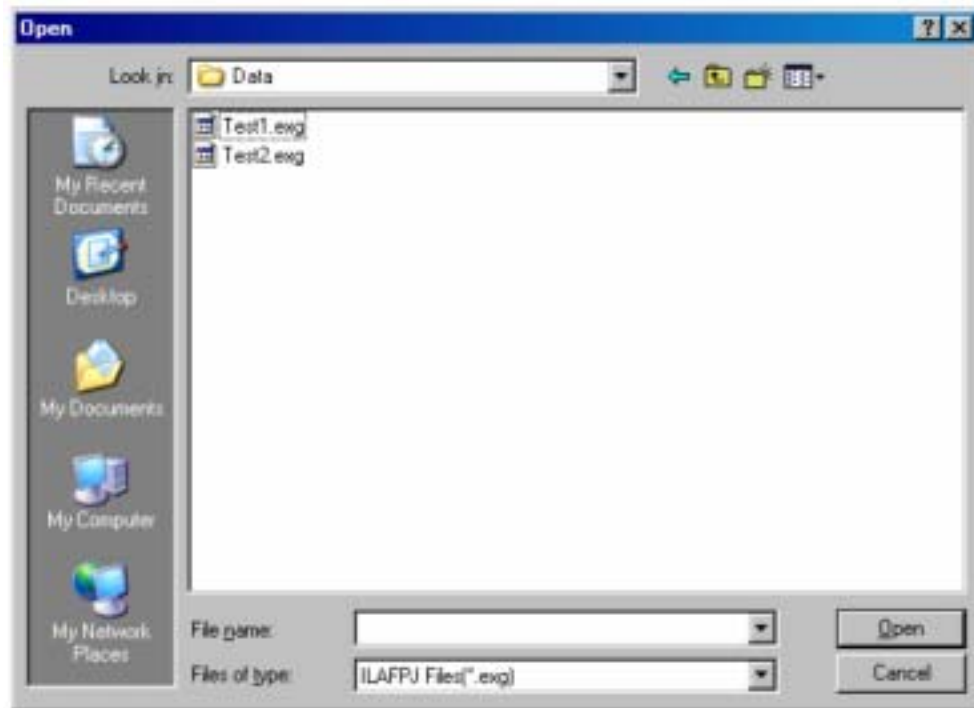
PCの保存先のダイアログが表示されます。ファイル名を新たに入力するか、保存先のファイルを選択した状態で**Save**をクリックすると、調整したガンマデータがファイルに保存されます。



Load from PC

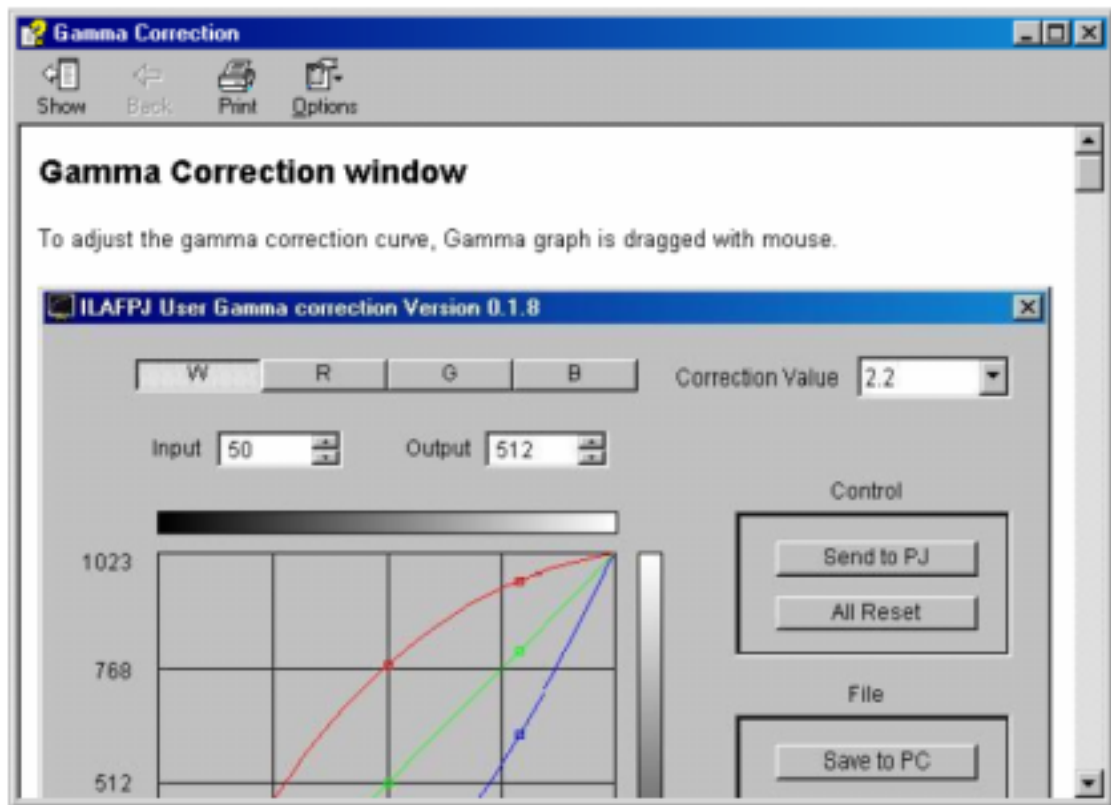
PC に保存されているガンマデータファイルの保存先を表示します。ロードするガンマデータファイルを選択し **Open** をクリックすると、ガンマデータファイルでガンマ調整メニュー読み込まれます。

読み込まれたデータはガンマグラフ (D) で表示されます。



HELP

以下のヘルプメニューが表示されます。



Finish

ガンマ補正画面を終了します。

テストパターンが表示された場合は閉じてください。

注記

ガンマカーブの調整を繰り返し行った場合、計算エラーを起こす場合があります。また、ガンマカーブを元の状態に復元することが不可能となる場合があります。その場合は、以下の方法のどれかを使い、ガンマデータをソフトウェアに再読み込みさせてください。

- ・ ソフトウェアを再起動しプロジェクターからガンマデータを読み込ませる
- ・ “ Correction Value ” のガンマ係数を変更する
- ・ “ a load from PC ” でガンマデータのファイルを読み込ませる

9. エラーメッセージ

Message	Comment
Can not open COMX(X:1,2,...,20)	選択された COM ポートを開くことができません。
Model Status of this projector is not ILAFPJ.	接続されているプロジェクターの型名が ILAFPJ ではありません。本ソフトウェアは ILAFPJ 専用です。
Can not receive Model Status.	プロジェクターの型名の取得に失敗しました。
Can not receive Projector Status.	プロジェクターのステータス取得に失敗しました。
Projector Status is not normal mode.	プロジェクターの電源が入っていません。プロジェクターの電源がオンになっている場合のみ、本ソフトウェアは起動できます。
Can not receive Gamma correction data	ガンマデータ受信に失敗しました。
Can not change the type of Gamma to CUSTOM.	ガンマを CUSTOM に変更していません。
Can not set the test pattern.	テストパターンの変更に失敗しました。
Can not transmit Gamma correction data.	ガンマデータの送信に失敗しました。
Invalid correction data	ファイルから読み込まれたガンマグラフのデータとガンマ調整が不良です。
File not found.	選択されたファイルが見つかりません。
Can not create file.	選択されたファイルを生成できません。